

## 2021年度 第2回常任理事会：議事録

日 時：2021年6月12日（土）  
午後2時00分～午後4時50分  
場 所：オンライン会議（Zoom利用）  
出席者：古屋健（理事長）、田中真介（副理事長）、  
上瀬由美子、軽部幸浩、川本利恵子\*、  
木村友昭、桐生正幸、小林剛史、  
田中堅一郎、谷口淳一（以上、常任理事）  
松田浩平（第87回大会委員長）  
事務局：軽部幸浩（事務局長）、小林麻衣、時田学  
(以上、幹事)  
(＊は欠席者：敬称略、五十音順)

### I 報告事項

#### 1. 理事長挨拶

- ・理事長より、オンライン会議の開催について  
先生方への感謝の言葉が述べられた。

#### 2. 各委員会報告

##### 1) 機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）

- ・委員会の構成メンバーが報告された。  
副委員長：軽部幸浩  
委員：青木みのり・阿南あゆみ・荒井弘和・板津裕己・角山剛・木下由美子・河野千佳・佐藤恵美・篠原一光・清水貴裕・関口和代・谷口淳一・種ヶ嶋尚史・松田浩平・松本友一郎・宮崎由樹・宮園真美・森由隆・八木善彦・山中真・矢野伸裕・山本真菜・吉澤寛之・渡辺伸子  
顧問：古屋健（理事長）・田中真介（副理事長）  
(敬称略)

- ・投稿論文の領域に偏りがあることから、  
領域（部門）ごとの査読担当を廃止し、  
内部で調整しながら査読担当の振り分け  
を行う方針に変更した。

##### 2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

- ・今年度の学会研修会は4名の講師に依頼する予定であることが報告された。古屋健理事長より、今回は原則無料（受講証明書が必要な場合は有料）にて実施する

ことが提案された。

・公開シンポジウムについては、現在2回開催する形で検討中であることが報告された。古屋健理事長より、公開シンポジウムの開催は年に1回であるため、3年計画で進める案が出された。

#### 3) 広報委員会（谷口淳一委員長）

- ・委員会の構成メンバーが報告された。  
副委員長：森泉慎吾  
委員：谷田林士・古谷嘉一郎・森下雄輔・吉澤寛之  
(敬称略)

・今後の活動予定について報告があった。

#### 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）

- ・委員会の構成メンバーを、現在選任中である。

#### 5) 国際交流委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

- ・ICAP2022の開催時期に合わせ、委員の選出を次回の常任理事会で報告する。

#### 6) 学会賞選考委員会（木村友昭委員長）

- ・委員会の構成メンバーが報告された。  
副委員長：伊坂裕子  
委員：伊藤令枝・上瀬由美子（機関誌編集委員長）・軽部幸浩（事務局長）  
相談役：古屋健（理事長）  
(敬称略)

#### 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）

- ・委員会の構成メンバーが報告された。  
委員：稲葉隆・小林敦子・種ヶ嶋尚志・外島裕・和田万紀  
(敬称略)

- ・早期検討課題について報告があった。  
若手会員研究奨励賞の見直し、応用心理士の上位資格制度の検討、応用心理士資格更新制の検討。

- ・中・長期的検討課題について報告があった。

研究支援方策の提案、年次大会活性化の提案、応心企画事業の検討、若手研究者

- 支援策の提案、他学会にはない応心独自の会員サービスの提案、第4期学会活性員会「最終答申」の精査。
- 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（代読：古屋健理事長）  
 　・現在、1件が選考にあがっており、審査中である。
- 9) 倫理委員会（田中真介副理事長）  
 　・委員会の構成メンバーが報告された。  
 　　委員：大坊郁夫・外島裕・蓮花一己  
 　　（敬称略）
- 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）  
 　・委員会の構成メンバーが報告された。  
 　　副委員長：藤田主一  
 　　委員：輕部幸浩  
 　　（敬称略）  
 　・予算利用の内容と2021年度活動予定が報告された。
3. 日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）  
 　・特になし。
4. 心理学検定について（小林剛史委員長）  
 　・特になし。
5. 第87回大会について（松田浩平委員長）  
 　・進捗状況について報告がされた。  
 　・申し込み状況によっては、締切日を延長することも検討している。
6. 『応用心理学ハンドブック』について（古屋健理事長）  
 　・現在、校正/最終編集段階に入っており、順調に進めば、本年8月末あるいは9月中には刊行できる。
7. 育志賞受賞候補者の推薦の件（古屋健理事長）  
 　・育志賞受賞候補者の推薦が挙がらなかつたため、今回は見送った。
8. その他  
 　・特になし。

## II 審議事項

1. 委員会活動費の取り扱いと予算に関する件（輕部幸浩事務局長）  
 　・審議の結果、承認された。
2. 2020年度決算に関する件（輕部幸浩事務局長）

- ・審議の結果、承認された。
3. 2021年度予算に関する件（輕部幸浩事務局長）  
 　・審議の結果、承認された。
4. 日本応用心理学会役員選出・選挙規程の改正に関する件（古屋健理事長）  
 　・審議の結果、承認された。
5. 新人会員審査および会員異動に関する件（輕部幸浩事務局長）  
 　・審議の結果、申請者全員の入会が承認された。  
 　・2021年5月31日現在の会員異動  
 　　入会者：20名、退会者：29名。  
 　　一般会員：978名、院生会員：48名、学生会員：2名、賛助会員：2名、名誉会員：29名、終身会員：49名、会員合計：1,108名。  
 　・終身会員規程に該当する6名から終身会員の申請があった。
6. その他  
 　・特になし。

※次回の常任理事会は、2021年7月24日（土）14時からオンライン会議にて開催予定である。

以上

## 2021年度 第3回常任理事会：議事録

日 時：2021年7月24日（土）

午後2時00分～午後4時55分

場 所：オンライン会議（Zoom利用）

出席者：古屋健（理事長）、田中真介（副理事長）、

上瀬由美子\*、軽部幸浩、川本利恵子\*、

木村友昭、桐生正幸\*、小林剛史、

田中堅一郎、谷口淳一（以上、常任理事）

松田浩平（第87回大会委員長）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、小林麻衣、時田学

（以上、幹事）

(\*印は欠席者；敬称略、五十音順）

### I 報告事項

#### 1. 理事長挨拶（古屋健理事長）

- ・理事長より、出席された常任理事の先生方への感謝の言葉が述べられた。

#### 2. 各委員会報告

##### 1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩副委員長）

- ・査読中論文については、原著6本、資料3本、短報3本の計12本が審査中である。
- ・「応用心理学研究」第47巻1号は、原著3本、資料1本、短報3本の論文が掲載予定である。
- ・論文審査規程の改正については、現在進行中である。

##### 2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

- ・第87回大会での「研修会」の担当講師について報告された。
  - 研修会A：小嶋理江氏、小野洋平氏
  - 研修会B：染矢瑞枝氏、入山茂氏
- ・公開シンポジウムは現在企画中である。

##### 3) 広報委員会（谷口淳一委員長）

- ・クロスロード購読状況に関するアンケート実施を検討している。
- ・今後クロスロードで取り扱う記事として、第87回大会や心理学検定を取材してはどうかとの提案が出された。

##### 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）

- ・前期申請者は0名であったことが報告された。

#### 5) 国際交流委員会（川本利恵子委員長）

- ・ICAP2022が2023年に延期されたことにより、任期延長が必要となる可能性があることが確認された。

#### 6) 学会賞選考委員会（木村友昭委員長）

- ・今年度の優秀大会発表賞の投票はGoogleフォームで行う。

#### 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）

- ・日本応用心理学会若手会員研究奨励賞の募集、選考、表彰について改定案が説明された。

##### ① 第3条（1）

旧：「推薦人1名（正会員）」

新：「推薦人1名（一般会員）」に変更

##### ② 第3条（2）

旧：「募集年度の4月1日時点で40歳以下もしくは最終学歴修了後5年以内の者」

新：「いま現在院生会員もしくは最終学歴終了後5年以内のもの」に変更

- ・「初学者に相当する申請者を経験者よりも優先すること」については、内規ではなく趣旨を明言した方がよいのではないかとの意見が出された。

#### 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（川本利恵子委員長）

- ・特になし

#### 9) 倫理委員会（田中真介副理事長）

- ・本学会の倫理綱領について策定の経過と特色、また近年の倫理的配慮の動向が述べられた。

#### 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）

- ・特になし

#### 3. 日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）

- ・2021年第1回社員総会の報告がなされた。

#### 4. 心理学検定について（小林剛史委員長）

- ・7月20日（火）に申し込みが終了した。

- ・8月1日（日）～31日（火）にCBT方式で行う。

5. 第87回大会について（松田浩平委員長）
  - ・大会発表等の件数は、自主企画ワークショッピング2件、口頭発表10件、ポスター発表57件、教育発表6件である。
  - ・大会二日間のタイムスケジュールが示された。
6. 理事会および総会の開催について（古屋健理事長）
  - ・理事会および総会のスケジュール案は以下のとおりである。
    - 理事会：年次大会の前日の午後
    - 総会：年次大会1日目の昼の時間帯
    - 常任理事会：年次大会2日目の昼の時間帯
7. その他
  - ・特になし。

## II 審議事項

1. 2020年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・2020年度決算のなかに転記ミス箇所について説明がなされ、承認された。
2. 学会賞選考に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・審議の結果、論文賞、奨励賞が承認された。
3. 斎藤勇記念出版賞選考に関する件（古屋健理事長）
  - ・審議の結果、斎藤勇記念出版賞が承認された。
4. 会員異動に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・審議の結果、申請者全員の入会が承認された。
  - ・2021年7月20日現在の会員異動  
入会者：13名、退会者：4名。  
一般会員：986名、院生会員：50名、学生会員：2名、賛助会員：2名、名誉会員：29名、終身会員：48名、会員合計：1,117名。
5. その他
  - ・特になし。

以上

## 2021年度 理事会：議事録

日 時：2021年8月27日（金）  
16時00分～17時30分  
場 所：オンライン会議（Zoom会議）  
出席者：古屋健（理事長）、田中真介（副理事長）、阿南あゆみ、伊坂裕子、板津裕己、伊藤武彦\*、伊藤令枝、臼井伸之介\*、角山剛、上瀬由美子、亀岡聖朗、軽部幸浩、川本利恵子、来田宣幸、北川公路、木村友昭、桐生正幸、小林剛史、佐々木史之\*、佐々木美智子、沢宮容子\*、高石光一、田中堅一郎、谷口淳一、種ヶ嶋尚志、時田学、外島裕、中井宏、深澤伸幸、藤田主一、堀洋元、松田浩平、八木善彦、山本勝則、蓮花一己、和田万紀（以上、理事）

久保尚也、深見将志（以上、監事）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、時田学、小林麻衣（以上、幹事）  
(＊は欠席者；敬称略、五十音順)

### I 理事長挨拶（古屋健理事長）

・理事長より、オンライン会議に出席された理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

### II 2021年度第87回大会委員長挨拶（松田浩平大会委員長）

・明日から開催される、オンライン大会の説明と抱負が述べられた。

### III 報告事項

#### 1. 事業報告

##### （1）会員の異動および会費納入状況（軽部幸浩事務局長）

- ・2021年8月19日現在の会員数は、一般会員（990名）、院生会員（49名）、学生会員（2名）、名誉会員（29名）、終身会員（49名）、賛助会員（2名）の合計1,121名で、2020年度に対する会員減少は33名であった。
- ・2016年度から2021年度の会費納入状況についての説明があった。

- ・2021年度の会費納入率は、71%であった。
- (2) 各委員会報告
- 1) 機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
    - ・2021年4月から2021年8月までの投稿数は、原著論文8本、資料論文2本、短報論文3本の合計13本であった。
    - ・論文審査に関してワーキンググループを中心に作業を進めている。
  - 2) 企画委員会（桐生正幸委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
    - ・第87回大会学会研修会について報告された。
    - ・2021年度の公開シンポジウムの開催予定が報告された。
  - 3) 広報委員会（谷口淳一委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
    - ・『応用心理学のクロスロード Vol. 14』についての委員会での意見公開の内容について報告された。
  - 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
    - ・2021年度前期申請者は0名だった。
  - 5) 國際交流委員会（川本利恵子委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
    - ・国際応用心理学会（ICAP2022）北京大会における本学会会員の研究発表を対象に、英文特集号の作成準備を始める予定である。
  - 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
    - ・2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となつたため、優秀大会発表賞の審査はなかった。
    - ・2021年度学会賞について報告があった。
    - ・オンラインでの優秀大会発表賞投票の方法について報告があった。
  - 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）
    - ・委員会の構成員が報告された。
- ・学会活性・研究支援委員会の検討課題、新たな提案が報告された。
- 8) 倫理委員会（田中真介副理事長）
- ・委員会の構成員が報告された。また本学会の倫理綱領の特色、および近年の倫理的配慮の動向が説明された。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（川本利恵子委員長）
- ・桐生正幸氏著『悪いヤツらは何を考えているのか ゼロからわかる犯罪心理学入門』（SBクリエイティブ、2020年7月7日発行）が選考された。
- 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）
- ・名誉会員のインタビューを企画し、インタビューの文字おこしを進めている。
2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）
- ・2021年度第1回社員総会の内容が報告された。
3. 心理学検定について（小林剛史常任理事）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年8月23日（日）に実施を予定していた第13回心理学検定は中止することを決定した。第14回心理学検定の実施は、8月1日～31日までCBT（Computer Based Test）でおこなう。
4. 代替措置について（古屋健理事長）
- ・「第87回大会中止に伴う代替措置について」の報告があった。
5. 理事・監事選挙について（軽部幸浩事務局長）
- ・第7期（2021～2024年度）の理事・常任理事・理事長選出選挙の結果について報告があった。
6. 終身会員について（軽部幸浩事務局長）
- ・昨年度、終身会員に関わる諸規程が整備され、今年度は新制度施行1年目となり、6名の会員から申請があった。
7. 『応用心理学ハンドブック』について（古屋健理事長）
- ・藤田前理事長よりこれまでの経緯と進捗状況について報告された。
  - ・本年内の発行を目指して編集作業を進めている。

8. 顧問弁護士について（古屋健理事長）
  - ・今期も引き続き金井重彦弁護士に学会の顧問弁護士をお願いした。
9. その他
  - ・特になし。

#### IV 審議事項

1. 2020年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・2020年度決算書が開示され、審議の結果、承認された。
2. 2021年度予算に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・2021年度予算が開示され、審議の結果、承認された。
3. 日本応用心理学会役員選出・選挙規程の改正に関する件（古屋健理事長）
  - ・改訂案が開示され、審議の結果、承認された。
4. 若手会員研究奨励賞規程の改正に関する件（古屋健理事長）
  - ・改訂案が開示され、審議の結果、承認された。
5. 名誉会員の推挙に関する件（古屋健理事長）
  - ・外島裕氏、藤田主一氏が推挙され、審議の結果、承認された。
  - ・昨年度推挙した外島裕氏は、常任理事・事務局長の職務にあったため、本人より辞退の申し出があったが、今年度、あらためて推挙された。
6. 2023年度第89回大会（大会当番機関）に関する件（古屋健理事長）
  - ・亜細亜大学（東京都武藏野市）に大会開催を依頼する提案があり、審議の結果、承認された。
  - ・高石光一氏（亜細亜大学）から大会開催についての挨拶があった。

#### V 2022年度第88回大会委員長挨拶（来田宣幸大会委員長）

大会委員長の来田宣幸氏（京都工芸繊維大学）から大会開催についての挨拶があった。

以上

## 2021年度 総会：議事録

日 時：2021年8月28日（土）12:30～13:15  
場 所：オンライン会議（Zoom会議、オンラインマンド・メール会議）

出席者：62名（Zoom会議）、1,113名（メール会議）

総会は、司会の軽部幸浩事務局長による開会宣言の後、次第にしたがって進められた。

### I 理事長挨拶（古屋健理事長）

- ・理事長より、オンライン会議に出席された会員の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

### II 2021年度第87回大会委員長挨拶（松田浩平大会委員長）

- ・大会参加者へ感謝の言葉が述べられた。

### III 議長選出（古屋健理事長）

- ・松田浩平大会委員長が議長として選出された。

#### IV 報告事項

##### 1. 事業報告

- (1) 会員の異動および会費納入状況（軽部幸浩事務局長）
  - ・2021年8月19日現在の会員数は、一般会員（990名）、院生会員（49名）、学生会員（2名）、名誉会員（29名）、終身会員（49名）、賛助会員（2名）の合計1,121名で、2020年度に対する会員減少は33名であった。
  - ・2016年度から2021年度の会費納入状況についての説明があった。
  - ・2021年度の会費納入率は、71%であった。

##### (2) 各委員会報告

- 1) 機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）
  - ・委員会の構成員が報告された。
  - ・2021年4月から2021年8月までの投稿数は、原著論文8本、資料論文2本、短報論文3本の合計13本であった。
  - ・論文審査に関してワーキンググループを中心に行なっている。
- 2) 企画委員会（軽部幸浩事務局長代読）

- ・委員会の構成員が報告された。
  - ・第 87 回大会学会研修会について報告された。
  - ・2021 年度の公開シンポジウムの開催予定が報告された。
- 3) 広報委員会（谷口淳一委員長）
- ・委員会の構成員が報告された。
  - ・『応用心理学のクロスロード Vol. 14』についての委員会での意見公開の内容について報告された。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）
- ・委員会の構成員が報告された。
  - ・2021 年度前期申請者は 0 名だった。
- 5) 国際交流委員会（軽部幸浩事務局長代読）
- ・委員会の構成員が報告された。
  - ・国際応用心理学会（ICAP2022）北京大会における本学会会員の研究発表を対象に、英文特集号の作成準備を始める予定である。
- 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
- ・委員会の構成員が報告された。
  - ・2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となったため、優秀大会発表賞の審査はなかった。
  - ・2021 年度学会賞について報告があった。
  - ・オンラインでの優秀大会発表賞投票の方法について報告があった。
- 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）
- ・委員会の構成員が報告された。
  - ・学会活性・研究支援委員会の検討課題、新たな提案が報告された。
- 8) 倫理委員会（田中真介副理事長）
- ・委員会の構成員が報告された。また、近年の倫理的配慮の動向が述べられた。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（軽部幸浩事務局長代読）
- ・桐生正幸氏著『悪いヤツらは何を考えているのか ゼロからわかる犯罪心理学入門』（SBクリエイティブ、2020 年 7 月 7 日発行）が選考された。
- 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）
    - ・名誉会員のインタビュー企画と、インタビューの文字おこしを進めている。
2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）
- ・2021 年度第 1 回社員総会の内容が報告された。
3. 心理学検定について（小林剛史常任理事）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和 2 年 8 月 23 日（日）に実施を予定していた第 13 回心理学検定は中止することを決定した。第 14 回心理学検定の実施は、8 月 1 日～31 日まで CBT (Computer Based Test) でおこなう。
4. 代替措置について（古屋健理事長）
- ・「第 87 回大会中止に伴う代替措置について」の報告があった。
5. 理事・監事選挙について（軽部幸浩事務局長）
- ・第 7 期（2021～2024 年度）の理事・常任理事・理事長選出選挙の結果について報告があった。
6. 終身会員について（軽部幸浩事務局長）
- ・昨年度、終身会員に関わる諸規程が整備され、今年度は新制度施行 1 年目となり、6 名の会員から申請があった。
7. 『応用心理学ハンドブック』について（古屋健理事長）
- ・藤田前理事長よりこれまでの経緯と進捗状況について報告された。
  - ・本年内の発行を目指して編集作業を進めている。
8. その他
- ・特になし。

## V 審議事項

1. 2020 年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・2020 年度決算書が開示され、審議の結果、承認された。
2. 2021 年度予算に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・2021 年度予算が開示され、審議の結果、承認された。
3. 日本応用心理学会役員選出・選挙規程の改正に関する件（古屋健理事長）

- ・改訂案が開示され、審議の結果、承認された。
4. 若手会員研究奨励賞規程の改正に関する件(古屋健理事長)
- ・改訂案が開示され、審議の結果、承認された。
5. 名誉会員の推挙に関する件 (古屋健理事長)
- ・外島裕氏、藤田主一氏が推挙され、審議の結果、承認された。
  - ・昨年度推挙した外島裕氏は、常任理事・事務局長の職務にあったため、本人より辞退の申し出があったが、今年度、あらためて推挙した。
6. 2023 年度第 89 回大会 (大会当番機関) に関する件 (古屋健理事長)
- ・亜細亜大学 (東京都武藏野市) に大会開催を依頼する提案があり、審議の結果、承認された。

## VI 議長退任

## VII 2022 年度第 88 回大会委員長挨拶 (来田宣幸大会委員長)

大会委員長の来田宣幸氏 (京都工芸総合大学) から大会開催についての挨拶があった。

以上

**日本応用心理学会 2020 年度決算書**  
(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

収 入			支 出		
項目	決算額	予算額	項目	決算額	予算額
【会費】	7,406,000	8,030,000	第 87 回大会補助費	0	850,000
過年度入金	340,000	400,000	学会賞	60,000	60,000
当年度入金(一般会員)	6,704,000	7,120,000	心理学諸学会連合年会費	60,000	60,000
当年度入金(院生会員)	210,000	360,000	シンポジウム・講演費謝金	0	200,000
当年度入金(学生会員)	6,000	6,000	研修会講師料	0	60,000
減免対象者	6,000	36,000			
前受金	80,000	48,000			
賛助会員	60,000	60,000			
			【委員会活動費】	647,761	1,480,000
【「応用心理士」関係】	400,000	280,000	機関誌編集委員会	409,011	450,000
審査料	100,000	70,000	企画委員会	0	200,000
認定料	300,000	210,000	広報委員会	200,000	350,000
			認定審査委員会	13,680	100,000
機関誌売上	452,500	450,000	国際交流委員会	5,260	100,000
代替措置参加料	138,000	0	学会活性・若手育成委員会	0	30,000
雑収入	0	40,000	学会賞選考委員会	10,020	50,000
抜き刷り代	8,250	0	倫理委員会	0	30,000
著作権使用料	110,163	80,000	齋藤勇記念出版賞選考委員会	0	20,000
受取利息	19	5	学会史編纂委員会	9,790	150,000
若手育成基金からの戻し金	100,000	0	【印刷費】	4,057,689	3,350,000
			機関誌	3,032,713	2,800,000
減免補助(齋藤勇)	2,000	12,000	代替措置論文集	527,010	0
			広報関係	437,580	500,000
			その他	60,386	50,000
			【通信費】	903,860	700,000
			機関誌郵送費(広報誌含)	509,989	500,000
			その他(領収書、会費請求送料等)	393,871	200,000
			常任理事会交通費	50,630	300,000
			事務局運営費	675,170	500,000
			事務局委託費	1,463,000	1,500,000
			会計作業委託費	200,000	200,000
			機関誌電子投稿システム費	288,294	290,000
			J-Stage 登載費(機関誌第 46 卷)	258,830	350,000
			サーバーホスティング料	54,494	50,000
			ドメイン料	7,480	25,000
			ハンドブック制作費	0	100,000
			支払手数料(決済代行手数料)	24,816	26,000
			予備費	16,500	20,000
			過年度余剰金減算	55,202	0
小計(A)	8,616,932	8,892,005	小計(B)	8,823,726	10,121,000
			(A)-(B)=単年度収支	△206,794	△1,228,995
			前期繰越金	3,769,425	3,769,425
			次期繰越金(C)	3,562,631	2,540,430
			英文特集号積立金*	250,000	250,000
			特別企画積立金	1,000,000	1,000,000
			選挙関連費用積立金**	200,000	200,000
			若手育成基金積立金***	200,000	100,000
			積立金計(D)	1,650,000	1,550,000
			次期繰越金(C)-(D)	1,912,631	990,430
小計	8,616,932	8,892,005	合計(B)+(D)	10,473,726	11,671,000
前年度繰越金	3,769,425	3,769,425	次期繰越金	1,912,631	990,430
合計	12,386,357	12,661,430	合計	12,386,357	12,661,430

## &lt;貸借対照表&gt;

(一般会計)

資 産		負 債
みずほ年会費口座	2,769,834	未払金 2,716,925
郵便振替口座	1,953,907	積立金（若手育成基金）* 100,000
未収金	5,815	合計 2,816,925
		本基金の部
		次期繰越 1,912,631
		(前期繰越 3,769,425) (当期収支 △1,856,794)
合計	4,729,556	合計 4,729,556

\*2019 年度積立が未執行のため

## &lt;別途会計&gt;

1. 特別企画積立金	3. 英文特集号積立金
2019 年度繰越金 2,390,121	2019 年度繰越金 1,001,562
2020 年度積立金 1,000,000	2020 年度積立金 250,000
受取利息 31	2020 年度発行費用 △599,610
	振込手数料 △440
	651,512
2. 若手育成基金積立金	4. 選挙費用積立金
2019 年度繰越金 1,959,968	2019 年度繰越金 400,000
2020 年度積立金 100,000	2020 年度積立金 200,000
受取利息 17	2020 年度選挙実施費用 △301,891
受給 1 名（2019 年度受賞者） △100,000	振込手数料 △880
振込手数料 △440	
	297,229
1,959,545	
5. 齊藤勇記念出版賞基金	
	2020 年度繰越金 130,000
	受賞者への褒賞 △30,000
	振込手数料 △220
	99,780

以上の通り相違ありません。

令和 3 年 7 月 3 日

監事 加藤 博己 

令和 3 年 7 月 3 日

監事 堀 洋元 

**日本応用心理学会 2021 年度予算書**  
(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

収入			支出		
項目	予算額	前年度予算額	項目	予算額	前年度予算額
【会費】	7,784,000	8,030,000	第 87 回大会補助費	850,000	850,000
過年度入金	600,000	400,000	学会賞	60,000	60,000
当年度入金(一般会員)	7,000,000	7,120,000	心理学諸学会連合年会費	60,000	60,000
当年度入金(院生会員)	258,000	360,000	シンポジウム・講演費謝金	200,000	200,000
当年度入金(学生会員)	6,000	6,000	研修会講師料	60,000	60,000
減免対象者	12,000	36,000			
前受金	48,000	48,000			
賛助会員	60,000	60,000			
【「応用心理士」関係】	320,000	280,000	【委員会活動費】	1,080,000	1,480,000
審査料	80,000	70,000	機関誌編集委員会	300,000	450,000
認定料	240,000	210,000	企画委員会	100,000	200,000
機関誌売上	450,000	450,000	広報委員会	300,000	350,000
雑収入	40,000	40,000	認定審査委員会	50,000	100,000
著作権使用料	100,000	80,000	国際交流委員会	50,000	100,000
受取利息	15	5	学会活性・若手育成委員会	30,000	30,000
減免補助(齊藤勇)	4,000	12,000	学会賞選考委員会	50,000	50,000
			倫理委員会	30,000	30,000
			齊藤勇記念出版賞選考委員会	20,000	20,000
			学会史編纂委員会	150,000	150,000
			【印刷費】	3,560,000	3,350,000
			機関誌	3,000,000	2,800,000
			広報関係	500,000	500,000
			その他	60,000	50,000
			【通信費】	700,000	700,000
			機関誌郵送費(広報誌含)	500,000	500,000
			その他(領収書、会費請求送料等)	200,000	200,000
			常任理事会交通費	200,000	300,000
			事務局運営費	600,000	500,000
			事務局委託費	1,500,000	1,500,000
			会計作業委託費	200,000	200,000
			機関誌電子投稿システム費	300,000	290,000
			J-Stage 登載費(機関誌第 47 卷)	350,000	350,000
			サーバーホスティング料	55,000	50,000
			ドメイン料	10,000	25,000
			ハンドブック制作費	50,000	100,000
			アプラスへ口座決済手数料等	30,000	26,000
			予備費	20,000	20,000
小計(A)	8,698,015	8,892,005	小計(B)	9,885,000	10,121,000
			(A)-(B)=単年度収支	△1,186,985	△1,228,995
			前期繰越金	1,912,631	3,769,425
			次期繰越金(C)	725,646	2,540,430
			英文特集号積立金	250,000	250,000
			特別企画積立金	0	1,000,000
			選挙関連費用積立金	150,000	200,000
			若手育成基金積立金	100,000	100,000
			積立金計(D)	500,000	1,550,000
			次期繰越金(C)-(D)	225,646	990,430
合計	8,698,015	8,892,005	合計(B)+(D)	10,385,000	11,671,000
前年度繰越金	1,912,631	3,769,425	次期繰越金	225,646	990,430
合計	10,610,646	12,661,430	合計	10,610,646	12,661,430

## &lt;別途会計&gt;

1. 特別企画積立金		3. 英文特集号積立金	
2020 年度積立金	3,390,152	2020 年度繰越金	651,512
受取利息	30	2021 年度積立金	250,000
	3,390,182		901,512
2. 若手育成基金積立金		4. 選挙費用積立金	
2020 年度繰越金	1,959,545	2020 年度繰越金	297,229
2021 年度積立金	100,000	2021 年度積立金	150,000
受取利息	15		447,229
	2,059,560	5. 齊藤勇記念出版賞基金	
		2020 年度繰越金	99,780
		受賞者への褒賞	△30,000
			69,780

**会員異動**

(2021 年 5 月 26 日～2021 年 9 月 27 日の異動)

**入会者**

なし

**退会者（希望退会）**安藤 詳子 丸山 欣哉 山岡 淳  
(以上、敬称略)**訂正**

お名前の記載間違いに関するお詫びと訂正

『応用心理学研究』第 47 卷 1 号におきまして、お名前の記載間違いがございました。深くお詫び申しあげます。今後はこのようなことがないようしっかりと進めて参ります。

事務局長 軽部幸浩

**謹弔**

名誉会員の山岡淳氏（1929 年 7 月 25 日～2021 年 8 月 15 日）が、ご逝去されました。名誉会員の丸山欣哉氏（1931 年 4 月 22 日～2019 年 11 月 22 日）が、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

## 会員異動

64 ページ右段

(誤) 後藤 悅子  
(正) 藤後 悅子